新潟米マンスリーレポート

（令和2年8月号）

≪今月の特集①≫

令和２年産米の需給見通しについて

＜「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」の概要＞

国が７月 30 日に公表した「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」によると、令和元/２年の主食用米の全国の需要実績は、前年から約 22 万トン減少して 713 万トンとなり、令和２年６月末民間在庫量は、前年から約 12 万トン増加し、201 万トン（速報値）としています。

また、令和２/３年の全国の需要量は 715 万トンと見込んでおり、令和２年産米の生産量が３月の基本指針で設定した 709～717 万トンであれば、令和３年６月末の民間在庫量は 196～204 万トンになると見込まれています。

○　主食用米の需要実績及び６月末民間在庫量の推移

（単位：万トン）

		H30/R 元	R 元/R２
全国	需要量	735	**713**
	民間在庫	189	**201**
新潟	需要量	56.2	**54.4**
	民間在庫	11.3	**14.7**

前年より 22 万トンの減

４年ぶりに 200 万トンを超過

需要量が前年より 1.8 万トン減、在庫量は 3.4 万トンの増

また、令和２年産主食用米については、今月の特集②に掲載のとおり、国が作付面積を対前年比微減と見込む一方、需要の減少を踏まえると、令和３年６月末における民間在庫は、更なる増加が懸念されます。本年度においても需要のない主食用米については、非主食用米への転換が必要です。

○　令和２/３年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

令和２年６月末民間在庫量	A	201
令和２年産主食用米等生産量	B	709～717
令和２/３年主食用米等供給量計	C＝A＋B	910～918
令和２/３年主食用米等需要量	D	715
令和３年６月末民間在庫量	E＝C－D	196～204

現状の主食用米の作付面積では上振れする懸念

Ｒ２以上に積み上がる恐れ

稲作経営の収入確保や米価下落リスクに対応するため、「田んぼ一枚転換運動」に取り組みましょう。

≪今月の特集②≫

令和２年産米の作付意向について

国は、令和２年産における各都道府県及び各地域農業再生協議会別の主食用米、戦略作物等の作付意向（６月末現在）を公表しました。

主食用米については、本県を含め、25 県が前年並み傾向であり、全体としては微減ではあるものの、需要の大幅な減少を踏まえると、過剰生産による米価下落が懸念されます。

また、県内では主食用米が前年より増加傾向の協議会は「12 協議会」、前年並みの協議会は「10 協議会」、減少傾向の協議会は「12 協議会」となっています。

県では、稲作経営の収入確保や米価下落リスクに対応するため、農業団体と連携して、米粉用米などへの転換を進める「田んぼ一枚転換運動」を推進しています。

ぜひ田んぼ一枚を主食用米から米粉用米などに転換しましょう。

○　国公表の令和２年産の都道府県別作付見込み（主食用米、６月末）

地域	前年並み傾向（25 都道府県）	減少並み傾向（22 府県）
北海道・東北	岩手、宮城、秋田、山形	北海道、青森、福島
北陸	新潟、富山、石川	福井
関東・東海	栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重	茨城、神奈川
近畿・中四国	京都、兵庫、鳥取、岡山、愛媛、高知	滋賀、大阪、奈良、和歌山、島根、広島、山口、徳島、香川、
九州・沖縄	福岡	佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

※　下線は、前回（４月末）意向から変動のあった道県

新型コロナウイルス感染症の影響で、主食用米の需要も落ちているし、需要のある米粉用米に取り組んでみよう。

新潟米の販売状況

概況　元年産の新潟米は、販売比率が前年を下回るとともに、令和2年6月の民間在庫は前年より 3.7 万トン増加している。

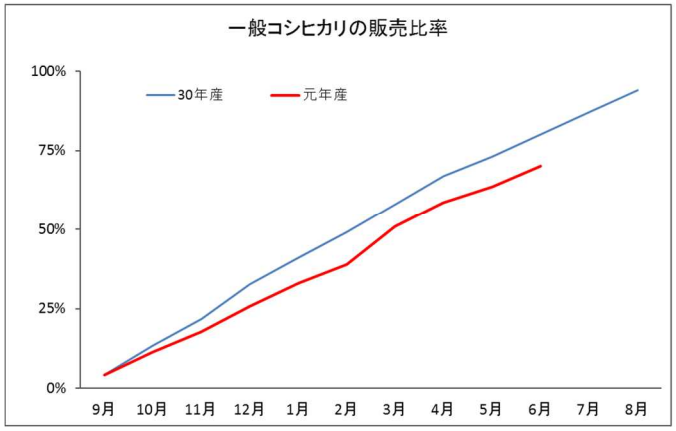
販売比率

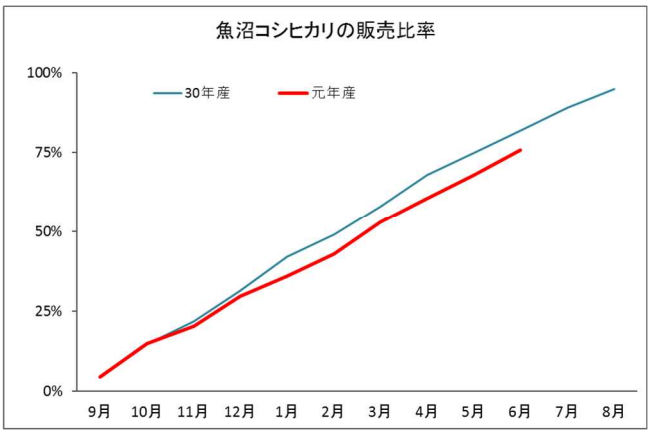
(1)一般コシヒカリ

6月時点の元年産一般コシヒカリの販売比率は、前年比10ポイント減の70%となり、9か月連続で前年を下回って推移している。

(2)魚沼コシヒカリ

6月時点の元年産魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比6ポイント減の76%となり、8か月連続で前年を下回って推移している。





販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	4%	10%	17%	25%	32%	40%	49%	58%	68%	77%	86%	94%
	30年産	4%	13%	22%	33%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
	元年産	4%	11%	18%	26%	33%	39%	51%	59%	63%	70%		
魚沼コシヒカリ	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	45%	52%	60%	67%	75%	85%	92%
	30年産	4%	15%	22%	31%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
	元年産	4%	15%	20%	30%	36%	43%	53%	61%	68%	76%		
岩船コシヒカリ	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	52%	62%	70%	78%	85%	94%
	30年産	1%	14%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
	元年産	2%	11%	16%	24%	29%	34%	43%	52%	57%	68%		
佐渡コシヒカリ	29年産	3%	14%	21%	29%	37%	44%	53%	60%	69%	76%	86%	95%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%
	元年産	3%	16%	22%	28%	35%	46%	58%	63%	70%	76%		

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
(注)各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

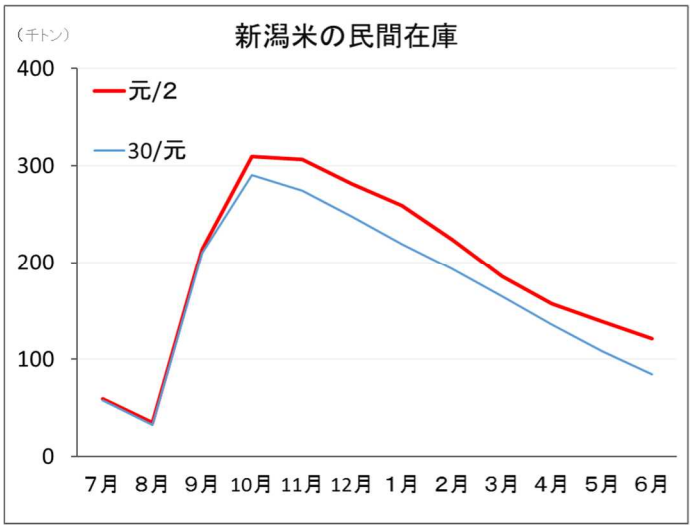
在庫状況

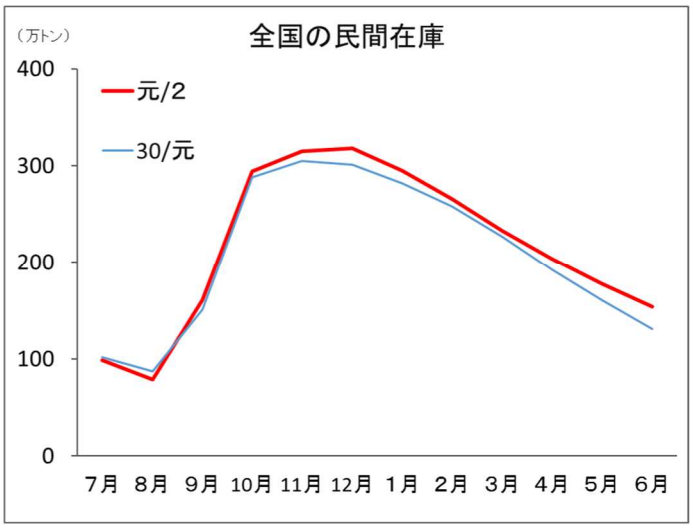
(1)新潟米

6月時点の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から37千トン増の122千トンとなり、前年を12か月連続で上回った。

(2)全国

6月時点の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から23万トン増の154万トンとなり、前年を10か月連続で上回った。





民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6
	30/元	58	32	210	290	275	248	219	194	165	136	108	85
	30年産米	0	1	194	276	264	241	214	190	162	134	107	84
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4	3	2	1	1	1
	元/2	59	35	214	309	306	281	259	224	186	157	139	122
	元年産米	0	1	194	293	294	273	253	219	183	155	137	120
	1年古米(30年産)	58	34	19	16	12	8	6	4	3	2	1	1
全国	29/30	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
	29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
	30/元	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
	30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
	1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
	元/2	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
	元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
	1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3

資料： 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

注：1 出荷段階及び販売段階における水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 １ページの６月末民間在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものであり、本項の在庫量とは異なる。

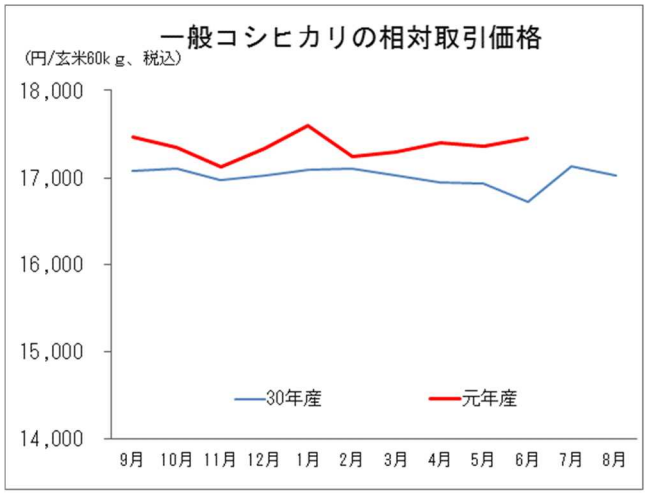
相対取引価格

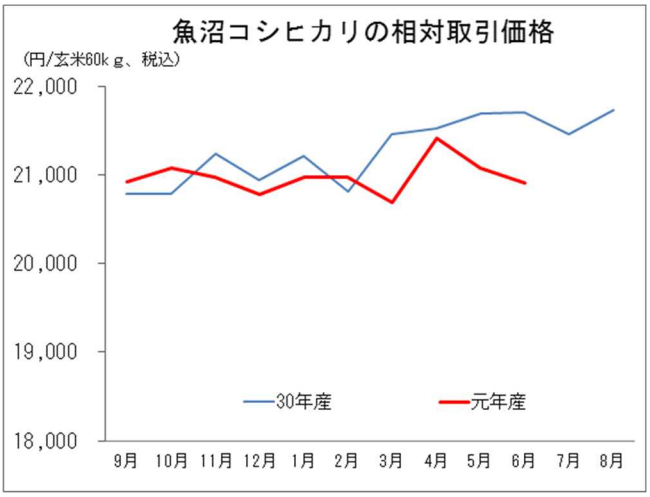
(1)一般コシヒカリ

6月時点の元年産一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前月から 87 円上回り、17,453 円(玄米 60kg、税込)となった。

(2)魚沼コシヒカリ

6月時点の元年産魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前月を 170 円下回り、20,908 円(玄米 60kg、税込)となった。





相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
	元年産	17,471	17,353	17,126	17,334	17,604	17,239	17,294	17,396	17,366	17,453		
魚沼コシヒカリ	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,462	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
	元年産	20,919	21,085	20,971	20,782	20,980	20,973	20,694	21,416	21,078	20,908		
岩船コシヒカリ	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	－	－	－	－	－
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	－	－	－	17,743	－
	元年産	17,811	17,917	17,962	17,948	18,101	17,968	18,079	－	－	17,913		
佐渡コシヒカリ	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	－	－	－	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	－	17,510	－	18,337	－
	元年産	17,834	17,922	17,932	17,919	18,199	18,059	18,137	17,951	－	17,785		

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「－」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

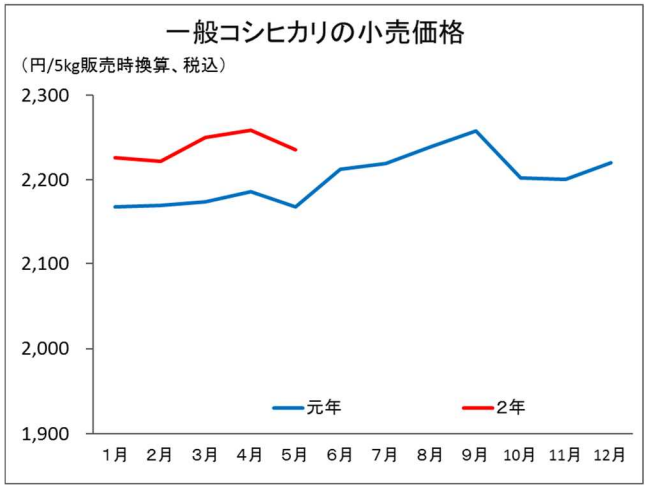
小売価格
(POS ﾃﾞｰﾀ)

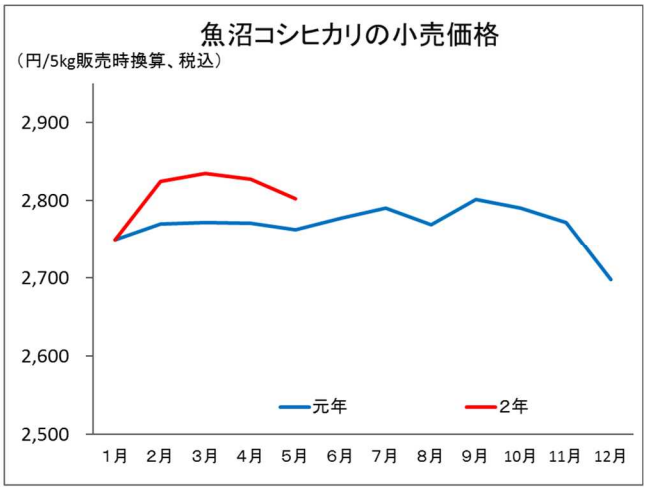
(1)一般コシヒカリ

5月時点の一般コシヒカリの小売価格は、前年産を上回っており、前月比▲23 円の 2,236 円(5kg 袋販売時換算、税込)となった。

(2)魚沼コシヒカリ

5月時点の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年産を上回っており、前月比▲25 円の 2,803 円(5kg 袋販売時換算、税込)となった。





小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	元年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258	2,202	2,201	2,220
	2年	2,226	2,222	2,250	2,259	2,236							
魚沼コシヒカリ	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	元年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802	2,791	2,772	2,698
	2年	2,750	2,825	2,835	2,828	2,803							
岩船コシヒカリ	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	元年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231	2,265	2,220	2,246	2,252
	2年	2,261	―	―	―	―							
佐渡コシヒカリ	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	元年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298	2,232	2,218	2,300
	2年	2,278	2,312	2,259	2,357	2,365							

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

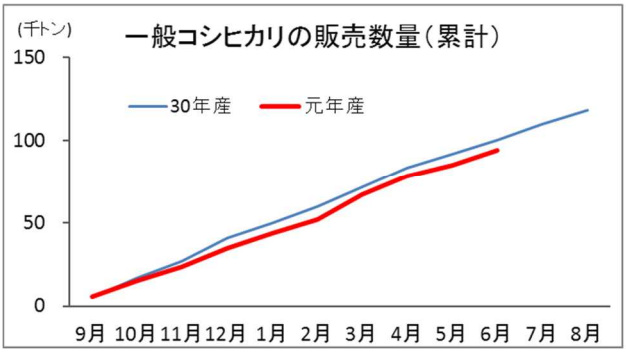
(注)「ー」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

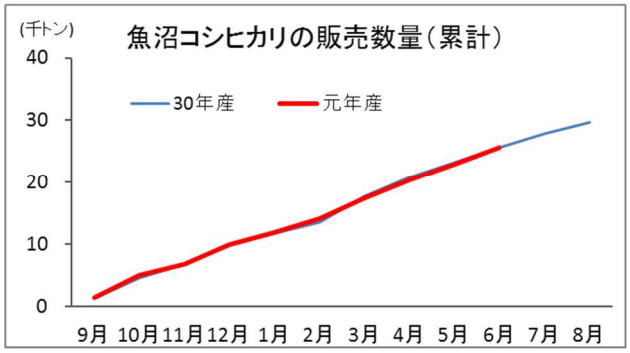
※ 当資料公表時点で、国は6月時点の小売価格未公表

発行元：新潟県農林水産部農産園芸課
TEL：025−280−5295
URL：https://www.niigatamai.info

資　料　編

販売状況





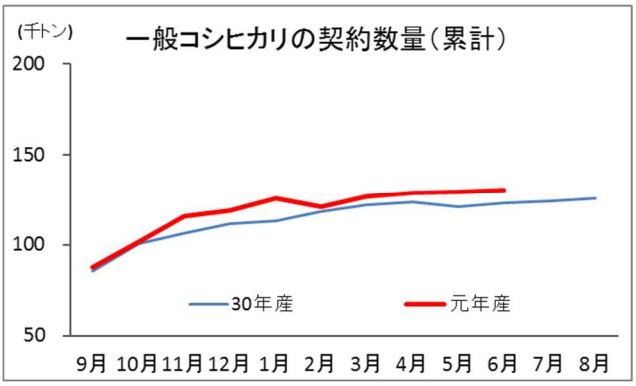
販売数量(累計)の推移

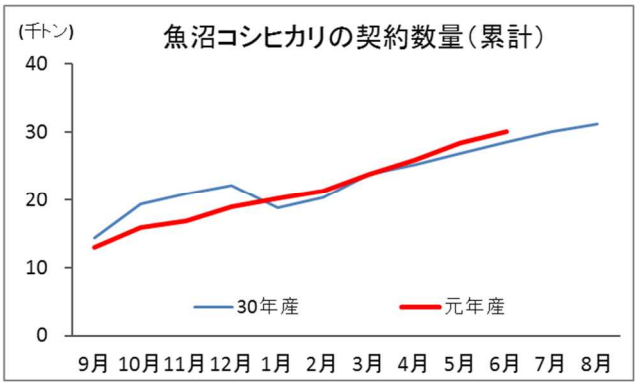
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
	元年産	5.5	15.2	23.8	34.8	43.7	52	67.4	78.7	85.4	94.4		
魚沼コシヒカリ	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
	元年産	1.5	5.0	6.9	10.0	11.9	14.1	17.5	20.5	23.0	25.6		
岩船コシヒカリ	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
	元年産	0.2	1.4	2.0	3.0	3.6	4.3	5.4	6.6	7.3	8.6		
佐渡コシヒカリ	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9	9.7	10.5	11.1
	元年産	0.4	2.3	3.2	4.1	5.0	6.6	8.3	9.2	10.1	11.0		

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況





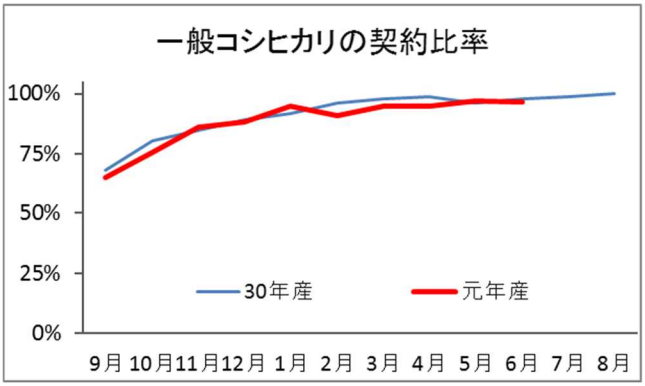
契約数量(累計)の推移

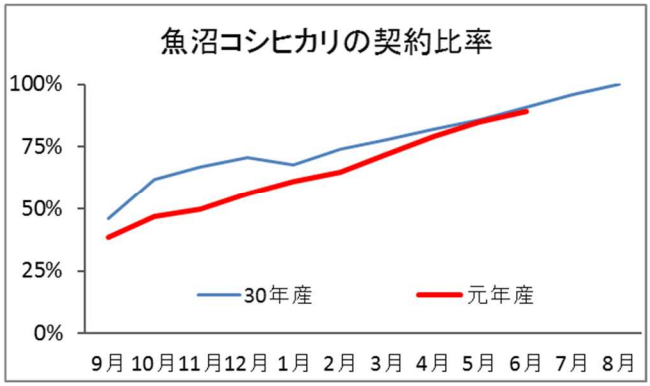
(玄米千トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	28年産	94.8	100.7	103.8	112.0	116.6	127.6	143.8	152.7	157.0	158.4	159.8	162.2
	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
	元年産	87.7	101.9	115.9	118.9	125.7	120.7	126.6	128.6	129.3	130.1		
魚沼コシヒカリ	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30.0	31.1
	元年産	13.0	15.9	16.9	19.0	20.2	21.3	23.8	25.9	28.4	30.1		
岩船コシヒカリ	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
	元年産	9.4	9.5	9.5	9.5	10.4	11.3	12.6	12.6	12.6	12.6		
佐渡コシヒカリ	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8
	元年産	10.9	11.1	11.3	11.6	12.3	13.4	14.2	14.4	14.2	14.2		

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率





契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	65%	73%	76%	81%	86%	89%	95%	97%	98%	98%	99%	100%
	30年産	68%	80%	85%	89%	92%	96%	98%	99%	96%	98%	99%	100%
	元年産	65%	76%	86%	88%	95%	91%	95%	95%	97%	97%		
魚沼コシヒカリ	29年産	43%	66%	71%	76%	81%	83%	86%	88%	90%	92%	96%	98%
	30年産	46%	62%	67%	71%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
	元年産	38%	47%	50%	56%	61%	65%	72%	79%	85%	89%		
岩船コシヒカリ	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	107%	107%	107%	107%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
	元年産	74%	75%	75%	75%	86%	90%	100%	100%	100%	99%		
佐渡コシヒカリ	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	98%	100%	100%	99%	99%	100%
	30年産	94%	96%	96%	98%	80%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%
	元年産	75%	77%	78%	80%	83%	93%	98%	100%	98%	98%		

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」
(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。